

「笑顔と幸せの実現」に取り組む軌跡

～今、私達に出来る事～

神奈川県横浜市

(株) ニチイケアパレス ニチイホーム 藤が丘

小原澤 秀樹 小川 文恵 森田 真衣 ○下赤所 宏行

1 はじめに

ニチイホームは介護や生活支援のサービスが充実した、安心・安全のある生活を提供する介護施設です。介護スタッフによる24時間の見守り体制で、日常の生活をサポート致します。現在、東京・神奈川・埼玉・千葉・静岡を拠点に53施設以上を展開しております。

銀杏並木の続く閑静な住宅街に位置する「ニチイホーム藤が丘」は、ニチイホームの中では最小規模の30室のホームです。小規模ならではの手厚い人員体制（要介護者2名に対して介護・看護職員を1名配置）と24時間看護体制により将来的に医療行為が必要となる場合においてもお客様にとって毎日が安心・安全な生活ができるようサポートしております。

スタッフが笑顔で接することで、お客様に少しでも安心して頂けるよう、またお客様からいただく笑顔が、スタッフの日々の喜びとなっております。お客様一人一人の思いを受け止め、しっかりと応えていき、個別ケアの充実を目標にお客様が安心して笑顔あふれるホームを目指しております。

2 事例や取り組みの紹介

事例1. レクリエーションへの取り組み

ニチイホーム藤が丘では24時間看護体制であり介護度が重度のお客様がご入居いただく事が多くを占め、身体介護が中心となりレクリエーションがあまり根付いておりませんでした。しかし2012年度より自立度の高いお客様から将来的な安心を考え入居を希望したいと言うニーズにお応えし要支援1～要介護2程度のお客様が多数ご入居され、より幅広いレクリエーションを展開するようになりました。

そこでまずホーム内にレクリエーション担当係を設置し、月単位で何をするのかを月間予定表としてカレンダーに記載し、当日担当者が実施出来るよう体制を整えました。レクリエーション内容としても様々な内容を企画をしており1月から12月までの四季折々の年中行事はもちろん、毎日行うレクリエーションはスタッフ考案のオリジナルレクリエーションを展開するなど、レクリエーションが豊富になりました。

その中でも棒体操はお客様においてもご好評いただき、参加率も高く、非常に楽しそうにされているお姿を拝見しております。棒体操の棒はスタッフと一緒に新聞紙でくるんだ簡単なものですが、その棒を手に握り、スタッフに合わせて一生懸命、身体を動かされています。

お客様がホームでの生活を笑顔で過ごせるよう、レクリエーション係を中心に職種を問わず全スタッフで企画、実行、評価を繰り返し行い、よりクオリティを求め、質の高いオリジナリティ溢れるレクリエーションの考案を進めております。

事例2. 介護予防への取り組み

ニチイホームにおいては介護予防運動に積極的に取り組み、介護予防用のマシンの設置や全ホームに介護予防指導員を配置、そして近年ではPT・OTを配置としたホームも誕生しております。介護予防指導員は介護予防指導員資格を取得し、専門的立場からスタッフへの介護予防の指導、スキル向上、育成から始まりお客様への介護予防の中心となり展開しております。

ニチイホーム藤が丘において、毎日実施している介護予防体操、口腔機能体操があります。また、個別にお客様のご要望、ADLに応じた目標設定を行い、日々その目標実現へ向けてプログラムを作成、実行、評価を実践しております。

(例1) E様は入居当初、つかまり立ちにてトイレに座り排泄を済ませることができておりましたが、ご本人様も拒否することが多く立位意欲をなくしてしまい、ベッド上でオムツによる排泄介助が日常となってしまいました。ご本人の意欲低下により一部介助から全介助を必要とするような状況にまで低下してしまいました。

そこで自立支援として介護予防運動を実施することにより筋力アップと意欲向上をすることにより、最初に来ていたつかまりながらの立位が出来ると仮説をたて、ご本人様対象に介護予防運動を中心に実施しております。

まず立位に必要な筋力アップの為の運動をご本人様の体調を観察しながら毎日実施しております。次に身の回りのできることはご自身で行なえるよう全スタッフが情報を共有し統一したケアを実施しております。またレクリエーションへ積極的にご参加いただき、日々の生活にメリハリと活動性をつけて行けるよう支援に努めております。

3 考察

レクリエーション、介護予防運動を積極的に実施することにより、お客様にも笑顔が以前よりも多く見られ活気がみられました。また業務を通してコミュニケーションが円滑となりお客様、ご家族様、職員間との距離が縮まりよりお客様への理解を深めることが出来ました。

(例2) お客様T様においては、職員にて全介助で召し上がっていた食事も、レクリエーション・介護予防運動を取り入れることにより、自力でお食事を召し上がるまで機能が回復されました。減少傾向にあった体重も増加傾向にあり栄養状態の改善と筋力アップ、意欲向上傾向にあります。また、ご自分からスタッフへ声をかけられたりなど自発語が増え、体操も普段は体を動かされなかったのが声掛けにて動かされるようになり、活気が見られるようになりました。

日常的なレクリエーションと介護予防運動を合わせて実行することで、お客様のADLを皆が把

握することが可能となりました。また QOL の向上の為にはどうすべきかをカンファレンスを定期的で開催し検討課題として取り上げ、一人一人のお客様に合ったケアを行っております。日々の業務を通してコミュニケーションを充実させ、お客様への理解を深め、且つお互いの信頼関係の構築へとつなげることの大切さを学ぶ機会になりより高い効果を実感しております。

これを機会にお客様の自立支援へ向けた介護サービス提供の実践を我々の使命と考え、日々の業務に取り組んでまいります。

4 おわりに

ニチイホームでは、お客様が安心して生活していただけるよう、また、笑顔を絶やさずお過ごしいただけるよう、様々な取り組みを実施しております。その一事例をご紹介します。

東日本大震災の教訓を活かし、万が一の事態が起きた時、ニチイホームのお客様、そして近隣の皆様の生命と生活の保護に努めることが、私たちニチイケアパレスの「社会的使命」とわきまえ、当社独自の「災害時における生命・生活の保護計画」を策定し、減災体制づくりを行っております。

電力	太陽光発電機と蓄電池を装備し、医療器具等の電源を確保。
水	手押しくみ上げ井戸を装備し、断水時の飲料水、生活用水を確保。
食糧	非常食と保存食糧を合わせて10日分の食事を提供。
電気自動車	通院等に備え、電気自動車を配置。
調理機器	ガス、電気がなくても炊事ができるように、釜戸等を装備し、実践訓練する。
建物対策	窓ガラスが割れても飛散ないように窓ガラスにシールを貼る。
生活用品	オムツや清潔用品を14日分用意。
スタッフの保護	帰宅困難者の宿泊用に寝具を保管。
防災訓練	3月・9月を防災月として実践訓練を実施。

上記に加え、地域ごとにニチイホームが協力して、物資や人員の不足を相互に補う体制を整えております。また、ニチイグループの支援に加え、協力会社や各市町村、区との協定の締結により、応急処置や速やかな復旧への協力ができるよう進めております。

先日の高齢者住宅新聞（2013年9月11日発売 3面）では、これらのニチイホーム独自の非常災害時の取り組みが紹介されました。ホーム内だけではなく、地域の皆様にも対応できる内容であり、より地域の皆様も含めここにすれば安心、安全とさせていただけるよう万全の体制を準備しております。

お客様の安心・安全、そして絶えることのない笑顔を守る為、我々、ニチイホーム藤が丘職員は日々向上心を持ち、お客様から認められ信頼されるような存在になれるよう努めてまいります。